

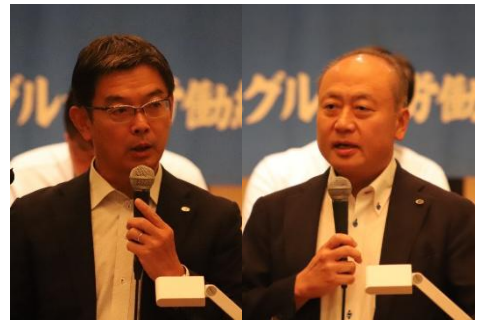


2026年9月18日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西日本連合第35回定期大会

J R 西日本グループ労働組合連合会は7月24日、大阪市内で第35回定期大会を開催し、向こう1年間の運動方針を決定するとともに、活動を牽引する新役員体制を確立した。大会には幹事会役員、代議員、傍聴者など約150人が結集し、J R 連合から上村良成会長と住吉一家労働政策局長が参画した。



羽野議長(左)、上村会長(右)

幹事会を代表してあいさつした羽野敦之議長(J R 連合副会長・J R 西労組中央執行委員長)は、「安全の確立」「男女平等参画推進」「魅力あるJ R 西日本グループの構築」について所信を述べるとともに、「労使の信頼関係を基礎として、組合員と家族の負託に応える責任ある運動を進めていこう」と呼びかけた。

また、J R 連合を代表してあいさつした上村会長は、最近のJ R 連合の取り組み経過を報告するとともに、「J R グループ労組連絡会の強い絆を活かして、様々な課題解決に取り組んで欲しい」と期待を述べた。

その後、幹事会が提案した運動方針案に対し、6名の代議員から「安全の確立」「組織強化・拡大」「春季生活闘争」「政策課題の実現」「ハラスメント対策」など、さまざまな課題が発言され、執行部答弁の後、川原孝義事務局長の総括答弁を経て全議案が満場一致で採択された。

最後に、青年・女性連絡会の高杉恭平代表幹事(J R 連合青年・



女性委員会議長、J R 西労組青年・女性委員会委員長)から提案された大会宣言を採択し、羽野議長による団結ガンバロウで閉会した。